

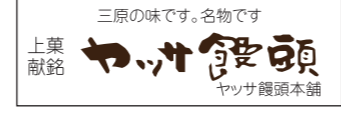
やっさもっさ新聞は多くの協賛企業に支えられ発行しております

(有) WILL 土居写場
スナックあうる
(株) 赤石硝子建材
赤谷木材(株)
安芸木礼(有)
(有) 安芸緑化機材
公認会計士浅田勝彦事務所
(株) アップモア
アトリエYAZAKI
イオン三原店
池田電工
いっばい×いっばい
イノセント
スナックinf
IRIS
お好み焼&スナックいろは
イワタニ山陽(株)三原支店
岩西自動車
おばんざい印
(有) 上田製版印刷所
(株) ウツミ
うな中
宇野税理士事務所
(株) エヌワイティグループ
(有) エフエム・コーポレーション
(株) 大石製作所
大下建設(株)
大東印刷(株)
オートドリーム三原
奥田自動車
小野税理士事務所
(株) マネジメント・ブレインズ
ピアノラウンジ帯
(有) 笠下工務店
(有) 片山自動車工業
親切ギフトかつはら
勝原不動産(株)
(株) 勝村商店
勝村木材(株)
力ネダ漢方薬品(株)
(株) カネツナ
(株) ガルバ興業三原工場
寿司・割烹かわ蝶
(有) 河本商店
関西住建(株)
(株) 関西通商
(有) 完山商店
きやめ
(株) 協ライン工業
共立電機産業(株)

(有) 共和設計
共和不動産(株)
(株) 桐島電気サービス
(株) 倉橋匠栄堂
Grand Cafe
グローバルイノベーション(株)
警備保障イーグル88
仁康会 小泉病院
広愛産業(株)
晃栄不動産(有)
広陽フッソ産業(株)
(株) コグマヤ
極楽茶寺
小松木工(株)
Consulting Switch
(株) サービスセンター
(株) 阪井養魚場
(株) 坂元鉄工
(株) 笹井産業
(有) サニー住設
(株) サニクリーン広島三原営業所
Sun Eight Motors
三協立山アルミ(株)
三陽環境管理(株)
山陽建設(株)
山陽製粉(株)
(有) シー・イー・サプライ
CBテクノロジー(株)
しまなみ信用金庫
(株) 住創
順勝寺
(株) 正田文華堂
JIN-仁-
(株) スミダ
セブンイレブン 世羅町店
BAR Seven Luck
ダイヤモンドゴルフ練習場
(有) タクトコーポレーション
竹本自動車
田中運輸(株)
田辺製麺工場
(有) 多森薬局
(有) 中央地所
(有) 中国補聴器
お好み焼&食事処つぼみ
くし焼き 狄
(有) 寺迫組
(有) 東亜不動産
東進衛星予備校三原駅前校
トータルサポートTSC

和食処登喜将
富野機工(株)三原営業所
鉄板KitchenTORICO
(株) 中野産業
(株) 中野モーターズ
中間醸造(株)
なぎさ医院 内科・皮膚科
溶岩焼和(なごみ)
(株) ナンパ洋服店
なんばレディースクリニック
(有) 西岡設備
(有) 西日本スペース
にった文具店
NEJIRO
(有) 野竹電工
(株) 八天堂
(株) 原アルミ建材
ハローランチ(株)本郷給食センター
(有) 半さん
光自動車ガラス専門店
ピストロSOBO
松山泰三税理士事務所
平田歯科医院
(有) 広興
広島電気工事(株)
(株) ファースト
ファミリーレストラン太陽樹高須店
農風舎
(株) 富久屋
(株) 藤井建設
藤井稔久税理士事務所
富士金属工業(株)
フジグラン三原
(株) BRIGHT
(株) ブリッジ
(株) 古川製作所
(株) 古林電機
フルモト建機(株)
文化シャッター(株)
ヘアサロンにしはら
スタンドベント
ホンダカーズ三原皆実店
(有) 本田石材工業
(株) まじま製麺
益谷建設(株)
松尾社労士事務所
スナックマリア
(有) 丸源ラーメン
(株) 丸善商會

備後国総鎮護御調八幡宮
(株) みどり商会
(有) みどり書店
みどり幼稚園
三原カンツリークラブ
三原郷心会
三原共生コン(株)
(株) 三原国際ホテル
みはらし温泉
(株) 三原シティホテル
三原重量(有)
(株) 三原松操
清幸会 三原城町病院
(株) 三原スーパー
三原末広簡易郵便局
三原総和(有)
三原タイヤ(株)
M・CAT三原テレビ
(株) 三原美装社
三好印刷(株)
(有) 村上鉄工所
天ぶら割烹もみぢ
盛影塗装(株)
もりきん
(株) 森剛
(有) モリタ美研
保道建設(株)
(株) やっさ石油
(有) ヤッサ饅頭本舗
やまさ建設(株)
山田記念病院
三原の味です。名物です
上菓 献銘
やっさ饅頭
ヤッサ饅頭本舗



JCI やっさもっさ新聞

2017年8月
第457号



三原JCをもっと知ろう! やっさもっさ新聞、ホームページ、Facebook、三原テレビで情報発信中!!

やっさもっさ新聞
 三原JC

 「いいね」募集中!!
 M-CAT 三原テレビ放送
 やっさもっさチャンネル

行政機関との懇話会「カレーライス会」開催

三原の未来へ7つの提言!



7月10日(月)三原市芸術文化センターポポロにて、天満祥典三原市長と三原市教育委員会の梶山幸範教育長をお招きし、三原青年会議所(以下:三原JC)の主張について意見交換を行ない、今後のまちづくり活動につなげる目的で開催したカレーライス会を3ページにわたり特集します。



第1部 三原の将来の展望について

Q1、現在の都市開発について
(愛と誇りの持てるまち創造委員会)
山根務委員長:今以上に三原市が発展する仕組みづくりを考える際に、市長が公約した内容を改めて確認し合う場が必要であると考えます。定期的に市民・市長・三原JC・他団体が一堂に会して公約実現の状況把握や達成状況を確認できる環境を作ってみませんか。

市長の公約実現が確認できる場の提供を

天満祥典市長:現在、新たに整備している(仮称)本郷地区産業団地は、地元商工団体と行政が知恵を出し合い、意見を集約したことで実現した産業活性化の成果の一つです。同じように、観光や歴史・文化などの分野でも、市民の皆さんや観光客の声を聞き、協力しながらまちの魅力に磨きをかけることができると考えています。
現在もさまざまな手段で市民の皆さんへの情報発信を行なっていますが、不十分であればその他の方法も考える必要があります。例えば、今回のような意見交換会を開催することも一つの方法だと思います。

やっさもっさ掲示板

やっさもっさ新聞では、皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。詳しくはホームページまで!

やっさもっさチャンネル

絶賛放送中
毎月最終週の1週間三原テレビ放送で放送しております。三原青年会議所公式ホームページからもご覧になられます。

【お問い合わせ】
一般社団法人 **三原青年会議所**
TEL 0848-63-3515
FAX 0848-62-1141
info@mihara-jc.com
三原市皆実4丁目8-1
三原商工会議所2階
三原青年会議所

活動情報 HPで発信中!

検索

去る四月十八日に任期満了に伴う三原市長選挙が投票され、現職の市長が、期目の当選を果たした。色々な意味で波乱に満ちた選挙戦であったことは皆さんの記憶にまだ鮮明に残っていると思う。まさに、わがまち三原のリーダーが誕生した瞬間だ。そこで、リーダーとは何かという事を考えてみた。◆「あなたがリーダー」と思える人は誰か、そしてその理由は?と問われた時、人それぞれに思い浮かべる名前や理由は違っただろう。◆ここに「立場が人を育てる」という言葉がある。その本来の意味は、役職にあることで自然と人が成長するということでは決してない。「役割を与えられることにより能動的に気持ち切り変え、歩前に足を踏み出して修羅場に対峙し、「皮むける体験」を積み重ねること、そして様々な場面で、仲間と対話し内省的に自分自身と向き合う経験こそが、人を一人前のリーダーに育てる」という意味だと考えてみると、その仲間が誰かという事が自然と見えてくる。そう、その仲間が私たち市民だ。◆市長に期待するだけではない、私たちリーダーを育てるという方法もこれからの地方自治の新しい変革の姿になるのではないかと。

Q2、郷土愛育成について

(未来への懸け橋委員会)

勝村晋委員長:三原JCでは、郷土愛を育む事業を行なっています。子どもの郷土愛を育むため、小早川隆景公ゆかりの地を巡る事業を行ないますが、三原市として各学校で実施できる取り組みをしてはどうですか。



郷土愛を育む恒例行事の導入に向けて

梶山幸範教育長:子どものモラルや価値観を形成する上で、大部分を占めるのが郷土愛だと思います。子どもたちには、郷土を愛し、誇りを持ち、将来、三原を支えていくという気持ちと「自分のルーツは三原にある」という思いを持ってほしいと思います。



各学校は責任をもって教育課程を編成し、郷土愛の醸成についても道徳の時間などで取り組んでおり、その中に何を取り入れるかを各学校が判断しています。ご提案の事業は有意義であり、各学校が実情を踏まえて実際に取り入れるかどうか判断すると思います。

Q3、優良企業の誘致について

(トップランナー拡大委員会)

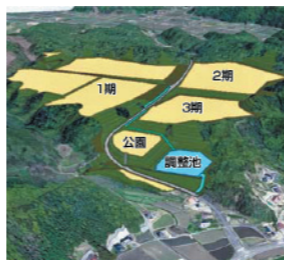
内海哲平委員長:三原JCは流通環境のメリットを訴えつつ、工業地域の分譲単価の減額や新規移転企業に対する税制優遇、不動産取引における土地売買の活性化を提唱しています。人口減少が続く三原市で、この陸海空を使い、どの地域に企業誘致を進め、どのように三原市の活性化に結びつけてゆくのかが、その思いを聞かせていただきたい。



三原を活性化させる企業誘致とは

天満市長:情報を発信し、収集する力をさらに強化するため、今年から市職員を広島県東京事務所に派遣し、企業誘致や観光誘客に関する情報を受発信しています。今後も三原市の強みをどんどん発信していくことで、商工業や観光の活性化に結びつけたいと考えています。企業誘致については、交通便利性に優れた三原市を県も高く評価しており、連携して事業を進めています。気候が温暖で災害が少なく、

交通の利便性が高いことから、さまざまな企業からお問い合わせをいただいておりますが、労働力の確保が難しい面もあります。今後は商工会議所や商工会とも協力し、状況の改善に努めたいと考えています。



※完成イメージ図 (仮称)本郷地区産業団地

Q4、新たな地域コミュニティについて

(大人の学び舎委員会)

池田恵委員長:三原JCは地域コミュニティ創造支援として「地域の人たちそれぞれの生き方に合った新しいコミュニティを考え提案・支援する」としています。「民間主導」で発足したコミュニティに対し後押しすることでより活発になると考えられますが、行政のご意見を聞かせていただきたい。



民間主導の地域コミュニティ支援の拡充を

梶山教育長:コミュニティ活動は関わる人たちが皆にメリットのある活動であるべきです。学校教育の場では、登校時の見守りといったコミュニティ活動に大変お世話になっており、子どもたちにとって「地域の大人に守られている、大切にされている」と感じられる環境であります。



一生学び続ける生涯学習でいえば、老人大学などで随時プログラムの見直しを行ない、より充実させていく必要があります。地域コミュニティ支援については、教育委員会と市の担当部署が連携し、これまで以上に取り組みを進める必要があると考えています。

第2部 今年度の取り組みについて

Q5、タコの魅力の創出について

(愛と誇りの持てるまち創造委員会)

山根委員長:三原JCは、食を通して各地域の魅力を発信し、三原の魅力を感じてもらうことを目的に、7月29日に大和町でタコに関する食のイベントを開催します。今回は三原観光協会、瀬戸内三原築城450年事業推進協議会にご協力いただきましたが、今後も開催、継続できるように三原市としてどのような支援ができますか。

タコのグルメイベント、継続への協力は?

天満市長:三原は「タコのまち」として売り出していますが、水揚げ量はまだまだ少ない状況です。市内でタコ料理を提供している飲食店も少なく、行政としてもさまざまな支援を行っていますが、新たに開店するタコ料理店は多くはありません。行政としても、三原をタコのまちとしてさらに有名にする

には、生産から消費まで、どこに予算をかけるのが効果的なのかを考えなければいけません。青年会議所の取り組みは応援していますので、どのように三原のタコをアピールするか一緒に考え、協力して活動を行なっていきたいと考えています。



Q6、子どもやっさの推進について

(未来への懸け橋委員会)

勝村委員長:三原の子どもたちに三原を今以上に好きになってもらえる行事のひとつとして、三原やっさ祭りがあげられます。踊り手として参加することで、充実感や仲間意識、周りでサポートしてくれる親や先生との絆を実感できる場もあります。祭りを通じて地域のつながりをいっそう深めていくためにも、三原市の全小学校・中学校に対して、教育委員会、行政から参加を要請していただきたい。

子どもやっさ踊り、全校参加を目指して

梶山教育長:やっさ祭りは市民の熱い想いに支えられた素晴らしい祭りだと思います。教育委員会では、機会あるごとにやっさ祭りに関する情報を学校へ提供しており、参加する学校へもさまざまな支援を行なっています。教育委員会としても、やっさ祭りを大切にしていかなければならないと考えており、これからも各学校へ積極的な参加を呼び掛けていこうと思

います。同時に、それぞれの地域には地域の行事や祭りがありますので、それらも理解・尊重しつつ、どのような行事に参加するのか、各学校で調整していただきたいと考えています。



Q7、女性の社会進出について

(トップランナー拡大委員会)

内海委員長:三原JCでは、毎年、まちづくり活動に賛同してもらえる青年に我々の活動を知ってもらうために、名刺交換会や、著名人をお招きしての講演会を開催しています。今年は女性活躍推進をテーマにした事業を企画していますが、行政として女性が今以上に活躍できる場をどのように生み出しますか。

女性が活躍する社会の実現へ

天満市長:女性の社会進出は全国的な流れです。市としても積極的に応援したいと考えています。女性が社会で活躍するために、例えば、子育て中の家庭に対しては子どもを預かる施設を増やすといった対策が必要になります。保育所の受け入れ児童数は、地域によって足りない場所と余っている場所があ

ります。これからよく話し合ってバランスを調整する必要がありそうです。市議会議員にも女性が増えていきますし、市役所でも今年、初の女性部長が誕生しました。三原市も全国的な流れに足並みを合わせて男女共同参画社会を推進していきます。一般の事業所についても、女性が管理職につけるよう応援していきたいです。

三原JC NEW FACE ようこそ 新しい仲間たち

 黒羽 輝一郎 君(35歳) 明治安田生命保険相互会社	 平賀 翔 君(35歳) オールラウンド	 藤井 健輔 君(30歳) 株式会社もみの木畳店	 山中 通教 君(30歳) 学校法人みどり学園	 山本 剛志 君(38歳) 山本衣料株式会社
-----------------------------------	----------------------------	--------------------------------	-------------------------------	------------------------------



今号で3ページにわたって特集している「カレーライス会」とは、1968年より49年間、三原の行政機関と三原青年会議所とで、1年に1回、軽食を交えながら三原の未来を考え、さまざまな意見交換を行なっている懇話会です。

8/18三原地域合同求人説明会/ 主催 Jデスクみはら 共催 広島県社会福祉協議会・三原市社会福祉協議会

8月18日(金) 13:00~16:00、三原市民ギャラリー(三原市城町一丁目2番1号 ペアシティ三原西館2階)を会場に、Jデスクみはら(三原市・三原商工会議所・三原臨空商工会・三原公共職業安定所)主催による三原地域合同求人説明会が開催されます。

- 対象** 三原地域での就職を希望する全ての就職希望者【平成30年3月大学・短大・専門学校卒業予定者・未就職学校既卒者/U-Iターン就職希望者/一般求職者(パート希望者含む)】
- 参加企業** 三原市内に事業所及び就業予定地がある事業所【三原市ホームページ(<http://www.city.mihara.hiroshima.jp/>)に掲載】
- 参加費** 無料【事前申し込み不要、当日会場でお申し込みください】

お問い合わせ Jデスクみはら事務局(三原市経済部商工振興課) TEL(0848)67-6072